

市民の「想い」がまちを変える

北陸新幹線敦賀開業に向けたつながる取り組み



2024年春、北陸新幹線敦賀開業予定。コロナ禍において、現在、大規模な来訪者の受け入れを行うことは難しいですが、開業まで約2年半に迫る中、アフターコロナも見据え、受け皿づくりは急務となっています。

新幹線工事に並行して、敦賀駅・国道8号・金ヶ崎エリアなどのハード整備も進捗中、開業効果を最大限引き出すためには、行政のみならず、市民をはじめ、民間企業・関係団体などが一丸となって取り組むことが肝要です。

今回は、ソフト事業の取り組みなどにスポットを当ててご紹介します。

北 陸新幹線敦賀開業に向け、敦賀市では、平成31年3月に、官民が連携し開業効果を最大限に高めるための「北陸新幹線敦賀開業に向けた敦賀市行動計画」を作成しました。その後、令和元年8月に、ソフト事業の中心的役割を担う「コアメンバー連絡会」を立ち上げ、目的意識の共有や推進体制の検討、そして勉強会を開催してきました。

令 和2年4月に、行動計画に基づいて官民協働で開業に向けた取り組みを推進していくため、商工業・観光団体、行政をはじめ様々な団体が参加して「新幹線敦賀開業まちづくり推進会議」を立ち上げました。開業機運の盛り上げのため、シンポジウムやワークショップを開催してきました。

誘 客・稼ぐ力・魅力・関係人口の増加を目指すため、推進会議として特に注力して進める4つのプロジェクトを設置しました。それぞれに中心的役割を担うリーダーを配置し、互いに連携しながら進めてまいります。

新幹線敦賀開業まちづくり推進会議が進める4つのプロジェクト

体験コンテンツ発掘プロジェクト

- プロジェクトリーダー
敦賀観光協会
- 事業名
体験観光素材「敦賀・旅のスパイス」造成事業
- 内容
 - ・口コミやGAP調査を基に、地域の事業者のやりたいコトを引き出し、体験コンテンツを発掘
 - ・観光客らの予約のアクションにつながるような販路の拡大 など

ホスピタリティー向上プロジェクト

- プロジェクトリーダー
NPO法人 THAP
- 事業名
「オール敦賀」おもてなし・情報発信拠点整備事業
- 内容
 - ・観光ボランティア人材・組織の連携体制の構築
 - ・来敦者への「おもてなし」のワンストップサービス化
 - ・翻訳機の共有化・運用 など



市民とつくる誘客イベントプロジェクト

- プロジェクトリーダー
敦賀市
- 事業名
まちづくりプレイヤー発掘・育成支援事業
- 内容
 - ・開業に向けた市民発案の企画の掘り起こしとプレイヤーの発掘
 - ・既存のイベント実施者と新しいプレイヤーとのマッチング
 - ・市民の主体的活動や開業機運の醸成

食・名物開発プロジェクト

- プロジェクトリーダー
敦賀商工会議所
- 事業名
敦賀ブランド開発検討会の開催・運営事業
- 内容
 - ・敦賀真鯛などを使った飲食メニュー提供店舗の拡大
 - ・地域事業者のやりたいコトを引き出し、新たなグルメコンテンツを開発 など

市民とつくる誘客イベントプロジェクト



敦賀市新幹線誘客課 課長補佐 松田 和之さん

2024年春の北陸新幹線敦賀開業に向けて、まちづくりに興味のある方や、敦賀を盛り上げたい人を発掘・支援し、敦賀の魅力を発見・可視化・発信していく「敦賀をひろげるプロジェクト」が本格的にスタートします。様々な方が所属を超えて、学校の同級生やサークルの仲間のようにフラットに繋がりが「敦賀をこんな街にしたい」「こんなことできたら面白そう」というアイデアを持ち寄り、それぞれの得意分野を活かして、街づくりに挑戦するプロジェクトです。今後は、9月から全6回のワークショップを通してつながり、プレイヤーの想いやアイデアを具体的な企画へと昇華させていきます。



体験コンテンツ発掘プロジェクト



敦賀観光協会 事務局次長 橋本 貴史さん

体験コンテンツ発掘プロジェクトでは、敦賀にまだ眠る新しい体験観光素材の発掘や今ある体験観光をさらに磨き上げることを目的として、今年度、旅づくりのプロ『じゃらん』を講師に迎え全3回のワークショップを開催いたします。体験観光という特別な感じがしますが、全然難しい事ではないということはこのワークショップを通じて皆さんと共有出来ればと思っております。北陸新幹線の敦賀延伸へ向けて新しい体験観光づくりにチャレンジしたい方、今やっている体験観光をますます充実させたい方、楽しい体験コンテンツと一緒に作っていきましょう！ご参加お待ちしております！



食・名物開発プロジェクト

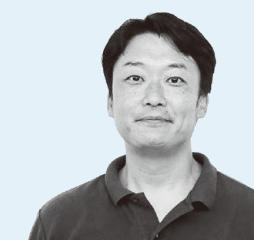


敦賀商工会議所 係長 川端 宏昌さん

「敦賀ブランド開発検討会」を設置して、敦賀の持つ優れた食材、食文化を活かした名物メニューや土産品などの開発・普及に関する取り組みを行い、「敦賀ブランド」を確立することで、市内における観光の産業化を目指しています。これまで、市内事業者に対して商品などの開発支援を行い、情報発信を行ってきました。開発された商品などについては、北陸新幹線沿線地域や、北関東・首都圏エリアへの売り込みも行ってまいります。市民の皆様に愛され自慢されるような商品をひとつでも多く生み出して、どんどん売り込んでいきたいと思っておりますので、市民の皆様のご理解・ご協力をお願いいたします。



ホスピタリティー向上プロジェクト



NPO法人THAP 事務局長 碓 望さん

敦賀を訪れる方々の思い出をそっと彩るような温かなおもてなしを。そのような思いで「つるがおもてなし隊」という活動が立ち上がっております。活動内容は毎月第2・第4日曜日の午前中に商店街アーケードのゴミ拾いや氣比神宮大鳥居前で写真撮影のお手伝い、ローカル情報満載のお店や道案内などを行っています。現在市内高校生の皆様や氣比さん参道いきいき会議の皆様とも連携を図り、多くの方に笑顔と感動を与えていただいています。今後は官民連携で徐々にこのおもてなしの輪を広げ、敦賀をより魅力溢れるまちにしていきたいと考えています。ぜひ多くの皆様のご参加をお待ちしております。



つながるつるが実行委員会 中山 喜美子さん



活動のきっかけは「敦賀を盛り上げたい」という熱い想いで素晴らしい活動をしている団体が、強い絆でつながり、そして協力し合うことで新幹線開業に向けて非常に大きな力になるのではないかと、その為にはお互いを知り合うことが大切だと考えたことです。これからは団体の垣根を超えた活動が当たり前になるように、「つなぐ」という役割を意識して活動を継続していきたいと考えています。

「敦賀のまちをこうしたい」「こんなことができたら面白そう」というアイデアを持ったたくさんの方の潜在的なプレイヤーがいらっしゃいます。敦賀市では、そんなプレイヤーを発掘し、それぞれが持つ企画やアイデアを持ち寄り、新しいイベントや受け皿づくりを後押しする「敦賀をひろげるプロジェクト」を始めました。また、時を同じくして、有志の団体同士がお互いを知ること、協力し合うことをコンセプトに「つながるつるが」イベントも行われました。お互いの活動を知り、**つながる**ことでまた新しい動きが生まれます。そして、その活動がさらに**ひろがっていく**ことで、さらに敦賀の魅力が磨き上げられます。

実際に、想いを形にして活動を始めていく方々にその意気込みをお聞きしました。

一人の力は小さくても、同じ想いの人たちが**手をつなぐ**ことで、可能性は大きく広がります。一人ではできないことでも、一緒ならできることがあります。

敦賀市では、皆さんのアイデアや企画を形にできるように、人と人をつなぐ取り組みを後押ししてまいります。

敦賀駅前商店街 理事長 河藤 正樹さん



敦賀駅前商店街では、「エキマエ + (プラス)」をコンセプトに枠にとらわれず、まちを歩く人が明るくなるような取り組みについてできることから始めています。このコンセプトは「商店街と人やものを足すことで新しい反応が生まれる」ことを期待して考えました。第1弾は、プラス掲示板。ただの案内の掲示だけでなく、訪れる方がちょっと足を止めるようなものをディスプレイしています。新しい交流につながるよう、今までなかったちょっとした取り組みを広げていきたいと思っています。

敦賀高校探究部 (創生部) 笹井 陽太さん



創生部は、「ワクワクを創る」をテーマに企業や団体の方などと連携して、地元敦賀や県を元気にする活動を行っています。北陸新幹線がやってきますが、まずは市民が大好きなまちになることが大事だと思います。その上で、観光客にも敦賀の良さをPRしていきたいです。創生部のような部活は、県内では敦賀高校くらいなので、今後、他の高校などもつながり、活動の輪が広がってほしいなと思います。

西福寺 中村 尊子さん



西福寺の風情や景観などを味わっていただくカフェやお茶会などを開催しています。ハンギングチェアに揺られながら眺める庭園は最高の癒しです。多くの人にぜひこの魅力を実際に味わっていただきたいです。また、ここを訪れた方を市内の飲食店や宿泊施設、他の名勝地などへと誘えるようにできたらと思います。今は、地区や檀家の皆さん、そして有志の方に協力いただき体験会などに取り組んでいますが、さらに横展開できるように人とのつながりを大切にしていきたいと思っています。

氣比さん参道いきいき会議 中道 尚子さん



神楽商店街だけでなく、外部の人にも参加してもらい、人が歩いて楽しくなってもらう取り組みをしています。例えば、お店ごとの木札や神楽本、買い物バッグなど神楽ならではのアイテムを作ったり、イベントを行ったりしています。また、SNSを使った情報発信にも力を入れています。一人ひとりの力は小さいけれど、みんなで取り組む力は大きなものです。まずは、地元の人たちに愛され、そして観光客の人たちにも楽しんでもらえるそんなエリアにしていきたいです。

市民の「思い」がまちを変える
北陸新幹線敦賀開業に向けた
つながる取り組み



北陸新幹線敦賀開業の受け皿づくりには、行政の取り組みだけではなく、市民の皆さんをはじめとする「プレイヤー」の存在が欠かせません。

「敦賀のまちをこうしたい」「こんなことができたら面白そう」というアイデアを持ったたくさんの方の潜在的なプレイヤーがいらっしゃいます。敦賀市では、そんなプレイヤーを発掘し、それぞれが持つ企画やアイデアを持ち寄り、新しいイベントや受け皿づくりを後押しする「敦賀をひろげるプロジェクト」を始めました。また、時を同じくして、有志の団体同士がお互いを知ること、協力し合うことをコンセプトに「つながるつるが」イベントも行われました。お互いの活動を知り、**つながる**ことでまた新しい動きが生まれます。そして、その活動がさらに**ひろがっていく**ことで、さらに敦賀の魅力が磨き上げられます。

観光ボランティアガイドつるが 会長 増田 正樹さん



北陸新幹線敦賀開業に向けて、ガイドコースの充実、「ホスピタリティーあふれる敦賀人の育成」にチャレンジしています。具体的には、まち歩きコースの開発・運営の加速化、昨年度に作成した「みどころガイドブック」を通じた敦賀の魅力のさらなる共有、市民・事業者向け出前講座「みどころ満載」の本格開催です。ガイド力の向上は元より、まち中で出会う多くのお客様に市民のおもてなし力が発揮されることも大切にしながら、取り組んで参ります。

かくろくかい 角鹿会 会長 桃井 泰人さん



日本最古といわれる「氣比神宮寺」である6か寺を中心に様々な立場の市民の皆さんでこの角鹿会が発足しました。「頑張りすぎず、ほどほどに。そして、感謝の気持ちと人と人とのつながりを大切に」をモットーに、活動しています。信仰心の厚い優しい人たちが暮らすまち、敦賀だからこそ、市民の皆さんや観光客の方にこのまちを好きになってもらえるよう敦賀の長い歴史と大切な文化を発信できたらと思います。

港都つるが株式会社 尾崎 寛之さん



港都つるが株式会社のミッションは、民間や行政ができないことを手掛けていくことです。最近では神楽町の顔であるビルをリノベーションし、遊べる公園カゲルがオープンしました。これは市内外から様々な立場の人が参加したまちづくりワークショップ「Rハッカソン」から生まれました。「おもしろい人を呼び込めば、またさらに全国から人が集まる、その繰り返しがまちを活気づける」そんな視点で、人の発掘、そこにあるものを生かす取り組みを進めていきます。

敦賀市海水養魚協会 会長 中村 英樹さん



敦賀は、養殖真鯛の北限地です。水温が低いこの敦賀で育つ敦賀真鯛は、成長がゆっくりですが、その分のびのびと成長させることで、身が引き締まり脂ののった味わいが自慢です。数年前からブランド化に取り組み、市内でも食べられるお店が増えてきました。今後、県内の地産地消をさらに推進していきたいと思っています。「敦賀にきたら、敦賀真鯛」と思ってもらえるように、これからも愛情を込めて、このブランドを守っていききたいと思います。